

Memory Media Utility

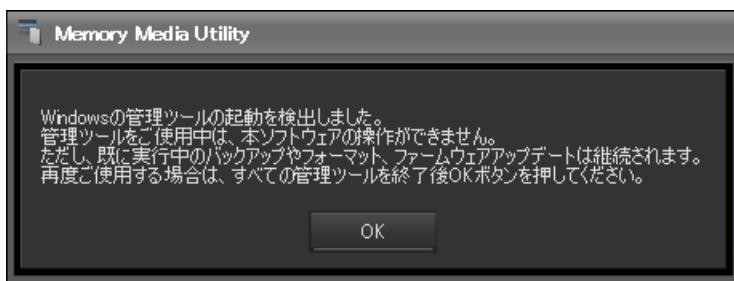
ヘルプ

はじめに

「Memory Media Utility」は、ソニー製 SxS メモリーカード、ポータブルストレージおよびプロフェッショナル RAID の統合管理を行うソフトウェアです。

ご注意

- 本ソフトウェアは現在発売中のソニー製 SxS メモリーカード、ポータブルストレージおよびプロフェッショナル RAID についてのみ動作を確認しております。
その他のメモリーカード（他社製の SxS メモリーカード、XQD メモリーカード、メモリースティック、SD カード）、外付けハードディスクには対応しておりません。 予めご了承ください。
- 本ソフトウェアでプロフェッショナル RAID ご使用中は、管理ツール（ディスクの管理など）を使用しないでください。 プロフェッショナル RAID に不具合が発生する可能性があります。 下記のメッセージが表示された場合は、管理ツールを終了してください。



- ソニーは、本ソフトウェアの使用によってお客様またはその他の方に生じた損害（データの損失を含みます）について、一切責任を負うものではありません。

動作環境

推奨動作環境や注意事項については、ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイトに掲載されている本ソフトウェア用のリリースノートを参照してください。

ソフトウェアやドキュメントは、下記のサイトからダウンロード可能です。

<https://www.sony.jp/xdcam/download/>

Appleシリコンを搭載したコンピューターにおけるセキュリティポリシーの設定について

Appleシリコンを搭載したコンピューターに、「SxS UDF Driver」および「Memory Media Utility」内に同梱されている「PSFSMARTDriver」をインストールするときは、あらかじめ下記の手順でセキュリティポリシーの設定を「低セキュリティ」に変更する必要があります。*

1. アップルメニューの「[システム終了]」をクリックしてコンピューターの電源を切る。
2. 電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れ、「起動オプションを読み込み中」と表示されるまで電源ボタンを押したままにする。
3. 「[オプション]」をクリックしてから「[続ける]」をクリックする。
4. 「[macOS 復旧]」でユーザーの選択を求められた場合は、ユーザーを選択してから「[次へ]」をクリックし、管理者アカウントのパスワードを入力する。
5. 「[復旧]」アプリケーションの「[ユーティリティ]」→「[起動セキュリティユーティリティ]」をクリックする。
6. 使用する起動ディスクを選択する。ディスクがFileVaultで暗号化されている場合は「[ロックを解除]」をクリックし、パスワードを入力してから「[ロックを解除]」をクリックする。
7. 「[セキュリティポリシー]」をクリックする。
8. 「[低セキュリティ]」を選択し、「[確認済みの開発元から提供されたカーネル機能拡張のユーザ管理を許可]」チェックボックスをオンにして、レガシーのカーネル機能拡張を使用するソフトウェアのインストールを許可する。管理者アカウントとパスワードの入力を求められたらそれを入力する。
9. コンピューターを再起動して変更内容を適用する。

* バージョン5.0以降の「SxS Device Driver」は、「低セキュリティ」に設定する必要はありません。ただし、「PSFSMARTDriver」や「SxS UDF Driver」と一緒に使用する場合は、すべてのドライバーをバージョン5.0以降にし、「低セキュリティ」に設定してください。「PSFSMARTDriver」は、ポータブルストレージ「PSZ」シリーズをUSB接続で使用する場合に必要なドライバーです。

起動する / 終了する (Windows の場合)

「Memory Media Utility」を起動する

Windows のスタートメニューの [Sony Corporation] – [Memory Media Utility] をクリックする。インストール時にショートカットを作成した場合は、デスクトップ上のショートカットアイコンをクリックする。

「Memory Media Utility」を終了する

[ファイル] メニューの [終了] をクリックする。

ファイルメニューから終了



常駐から終了 (SxS 機能または HDD/SSD 機能が有効な場合のみ)



「Memory Media Utility」では使用する機能のみを表示することができます。

[ツール (T)] – [設定] を選択して表示される設定ダイアログで表示させる機能を選択します。選択が出来る機能は以下の 2 機能です。

- SxS 機能
- HDD/SSD 機能

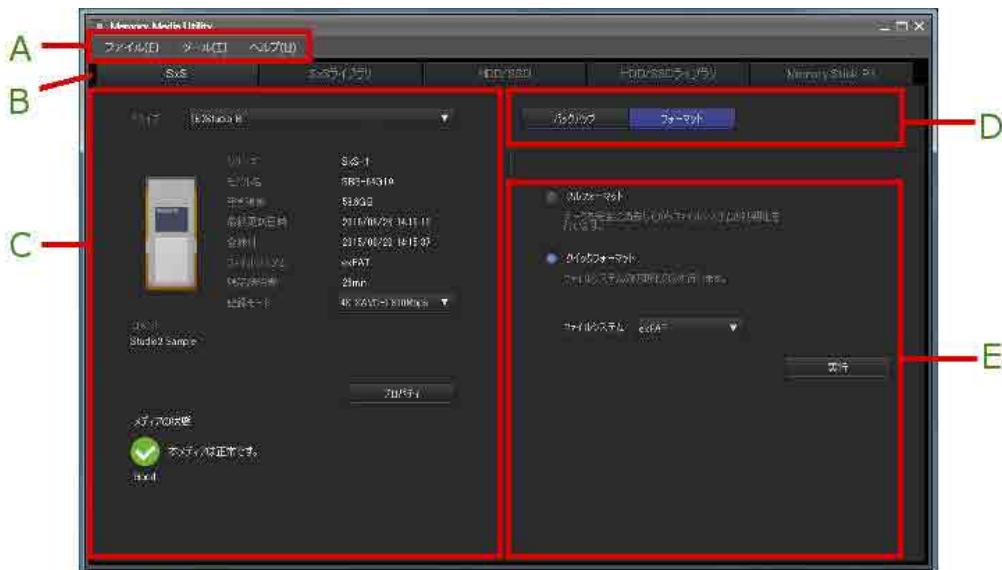
設定ダイアログ



SxS メモリーカード向け機能

画面各部の名称と機能

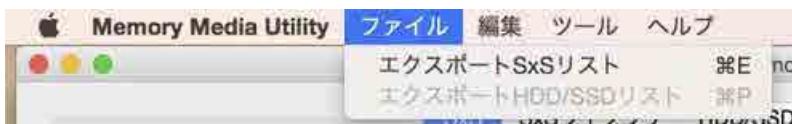
起動画面



A メニュー

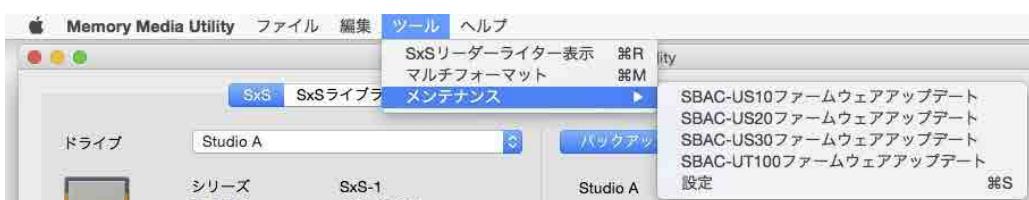
ファイル





- エクスポート SxS リスト
SxS ライブライアリで管理されている SxS メモリーカードの情報を "CSV ファイル" に出力します。
- エクスポート HDD/SSD リスト
HDD/SSD ライブライアリで管理されている HDD/SSD の情報を "CSV ファイル" に出力します。

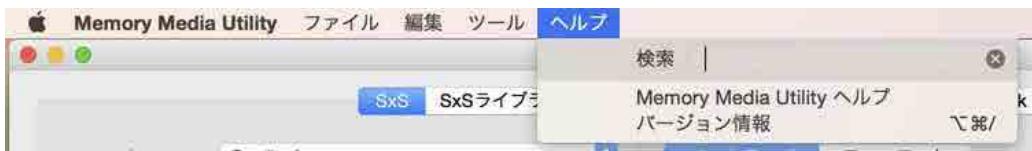
ツール



- SxS リーダーライター表示
コンピューターに接続されているソニー製 SxS リーダーライターを表示します。
- マルチフォーマット
"マルチフォーマット" 実行ダイアログを表示します。
- メンテナンス → SBAC-US10 ファームウェアアップデート
"SBAC-US10 ファームウェアアップデート" 実行ダイアログを表示します。
- メンテナンス → SBAC-US20 ファームウェアアップデート
"SBAC-US20 ファームウェアアップデート" 実行ダイアログを表示します。
- メンテナンス → SBAC-US30 ファームウェアアップデート
"SBAC-US30 ファームウェアアップデート" 実行ダイアログを表示します。
- メンテナンス → SBAC-UT100 ファームウェアアップデート
"SBAC-UT100 ファームウェアアップデート" 実行ダイアログを表示します。

ヘルプ





- Memory Media Utility ヘルプ
本ヘルプを開きます。
- バージョン情報
「Memory Media Utility」のバージョン情報を表示します。

B SxS/SxS ライブラリ切り替えタブ

SxS 操作画面と SxS ライブラリ画面を切り替えるタブです。

C SxS メモリーカード情報

挿入 & 選択されている SxS メモリーカードの情報を表示するエリアです。

ここでメディアの状態を確認することが出来ます。

D 機能選択ボタン

挿入 & 選択されている SxS メモリーカードに対して、実施する機能を選択するボタンです。

各機能の詳細はそれぞれの項目でご確認ください。

E 機能実行エリア

選択された機能を実際に操作するエリアです。表示内容は機能によって異なります。

SxS メモリーカードを登録する

「Memory Media Utility」はお持ちの SxS メモリーカードの情報を本ソフトウェアのデータベースに登録することで、情報の管理 / 閲覧することが可能となります。

「Memory Media Utility」を起動、もしくは常駐させている状態で未登録の SxS メモリーカードを挿入すると登録画面が表示されます。

ただし、本体が故障している場合は、登録はできません。

登録画面



(1) メディア名入力欄

任意の識別名を入力します。最大 32 文字まで入力可能です。

識別名は後から変更可能です。

(2) SxS メモリーカード情報

SxS メモリーカードのシリーズ情報等が表示されます。

(3) コメント入力欄

任意のコメントを最大 256 文字まで入力できます。

コメントは後から変更可能です。

(4) OK ボタン

入力された情報で SxS メモリーカードの情報を登録します。

(5) Cancel (キャンセル) ボタン

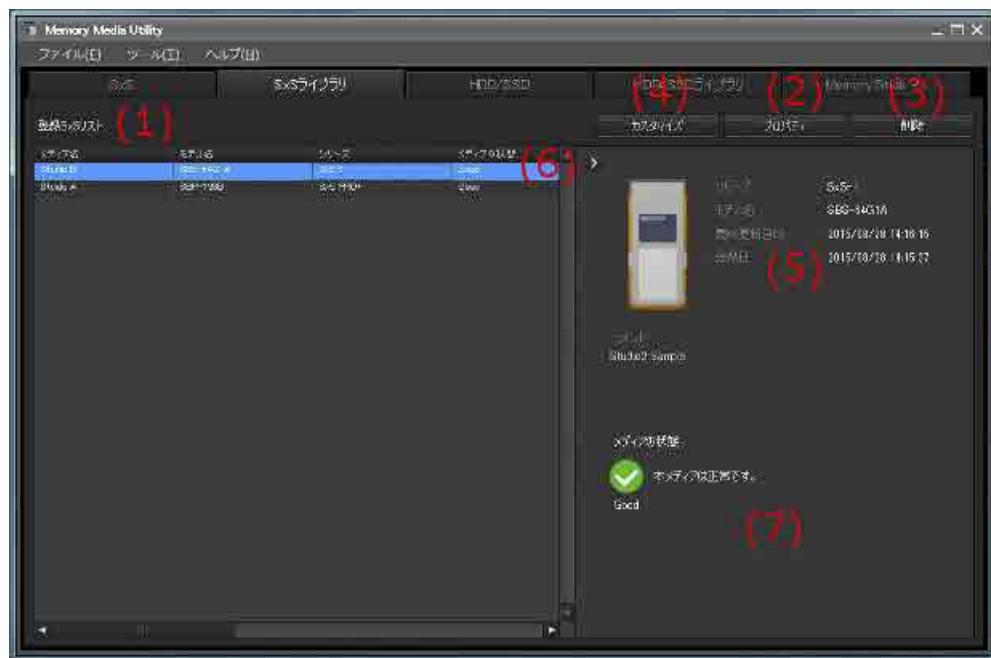
SxS メモリーカードの登録を取りやめます。登録されない SxS メモリーカードは本ソフトウェアで使用できません。

登録する場合は SxS メモリーカードを差し直して登録をやり直してください。

登録した SxS メモリーカード情報を閲覧する

「Memory Media Utility」に登録されている SxS メモリーカードの情報を閲覧 / 編集することができます。SxS/SxS ライブラリ切り替えタブで SxS ライブラリを選択します。

SxS ライブラリ画面



(1) 登録 SxS リスト

このエリアでは「Memory Media Utility」に登録されている SxS メモリーカードの情報の一覧を表示します。表示される情報は以下のものとなります。

- メディア名：任意の入力名称
- モデル名：SxS メモリーカード 型番
- シリーズ：SxS メモリーカードシリーズ名
- メディアの状態：SxS メモリーカードの診断結果
- 最終更新日時：SxS メモリーカードの最終情報取得日
- 最新バックアップ日時：最後にバックアップ機能を実行した日時
- バックアップ先 1, 2, 3：最後にバックアップを行った場所
- 追加列 1, 2, 3：任意に設定された追加列
- コメント：任意の入力コメント

(2) プロパティ

登録 SxS リスト内で選択されている SxS メモリーカードの登録情報を変更するダイアログを表示するボタンです。以下の項目の変更が可能です。

メディア名

- コメント
- 追加列 1, 2, 3

(3) 削除

登録 SxS リスト内で選択されている SxS メモリーカードの登録情報を削除するボタンです。

一度削除した SxS メモリーカードを再度「Memory Media Utility」で使用する場合は登録からやり直す必要があります。

(4) カスタマイズ

登録 SxS リスト内の各列の設定を変更するダイアログを表示します。

(5) SxS メモリーカード情報表示エリア

登録 SxS リスト内で選択されている SxS メモリーカードの情報を表示するエリアです。最後に取得した情報を元に表示します。

(6) 登録 SxS リスト表示エリア拡大ボタン

  このボタンを押すことで、SxS メモリーカード情報表示エリアを消して、登録 SxS リストの表示エリアを広げることができます。

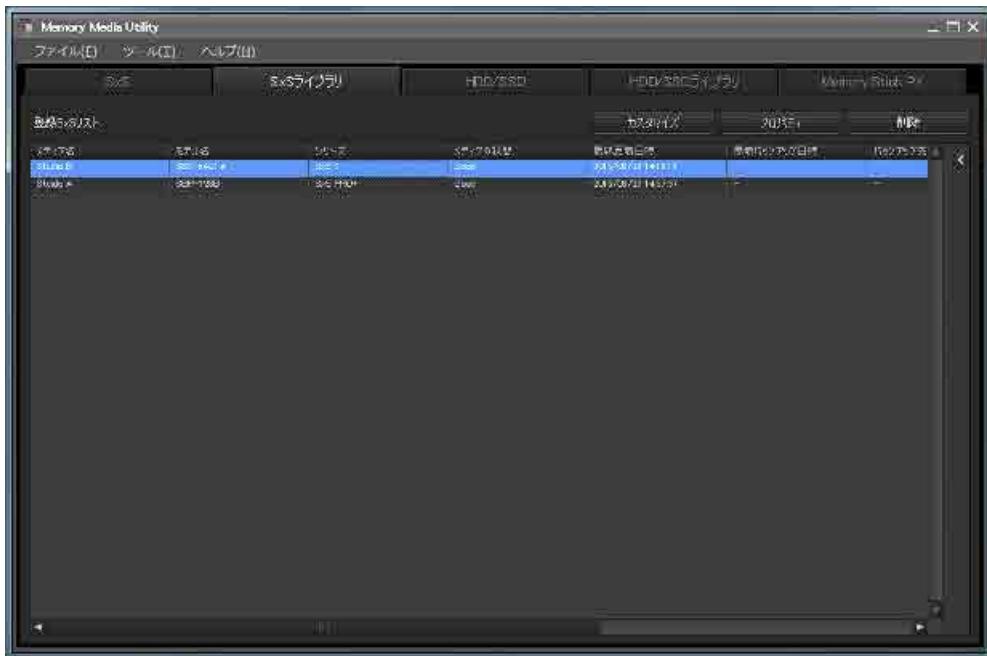
(7) メディアの状態

登録 SxS リスト内で選択されている SxS メモリーカードのメディアの状態を表示します。

下記の状態は (6) のボタンを使って閲覧エリアを変更した状態です。

  を押すことで元に戻すことが出来ます。

元に戻す場合は閲覧エリア変更後に表示されている   を押してください。



メディア名	モデル名	シリーズ	メディアの状態	最終更新日時	最新バックアップ日時	バックアップ先1	バックアップ先2	バックアップ
Sample Media	SBP-128B	SxS PRO+	Good	09/01/2015 11:29 AM				
Sample Media2	SBS-32G1A	SxS-1	Good	09/01/2015 11:29 AM	09/01/2015 11:29 AM			
Sample Media3	SBP-16	SxS PRO	-	09/01/2015 11:29 AM	09/01/2015 11:29 AM			
Sample Media4	SBP-64A	SxS PRO	-	09/01/2015 11:29 AM	09/01/2015 11:29 AM			
Sample Media5	SBS-16G1B	SxS-1	Good	09/01/2015 11:19 AM	09/01/2015 11:19 AM			
Sample Media6	SBS-64G1A	SxS-1	Good	09/01/2015 11:19 AM	09/01/2015 11:19 AM			
Studio A	SBS-64G1A	SxS-1	Good	09/01/2015 11:28 AM	09/01/2015 11:28 AM			

カスタマイズダイアログ画面



カスタマイズダイアログでは次の設定が実施可能です。

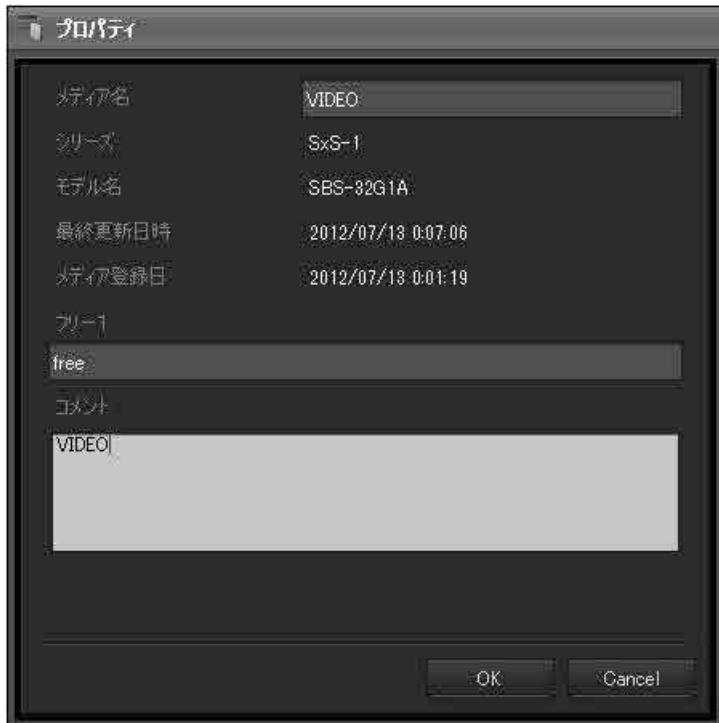
- 追加列の名称設定
- 各列の表示、非表示の切り替え

追加列は名称を設定することで有効になります。有効になった後は、登録済み SxS メモリーカードはプロパティによって追加列情報の入力、変更が可能です。

ご注意

追加列は名称を空欄にすることで無効になります。

追加列の名称を " フリー 1 " として有効にした後のプロパティ画面

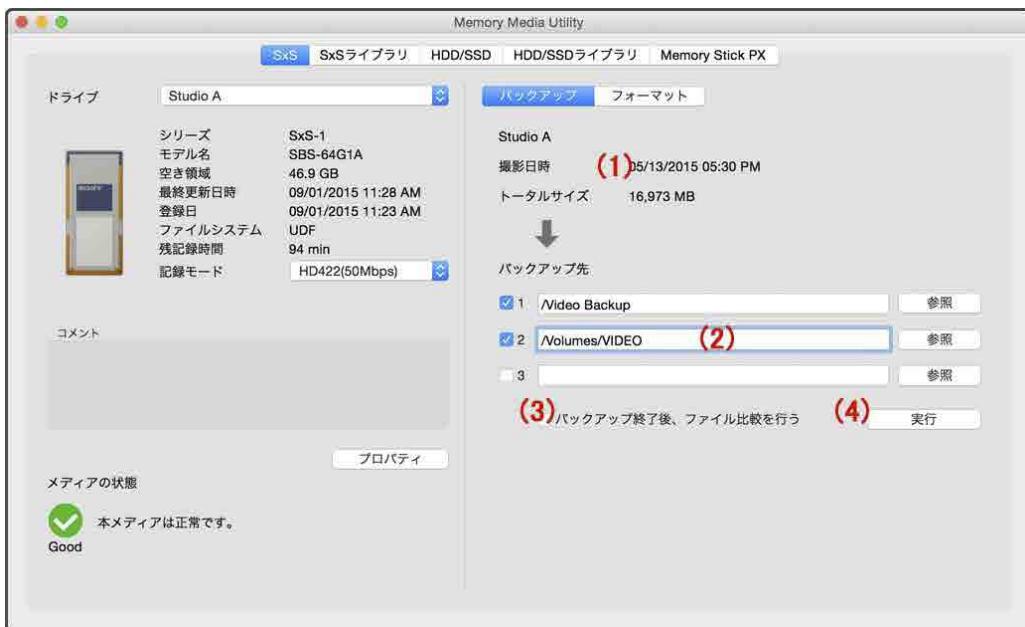
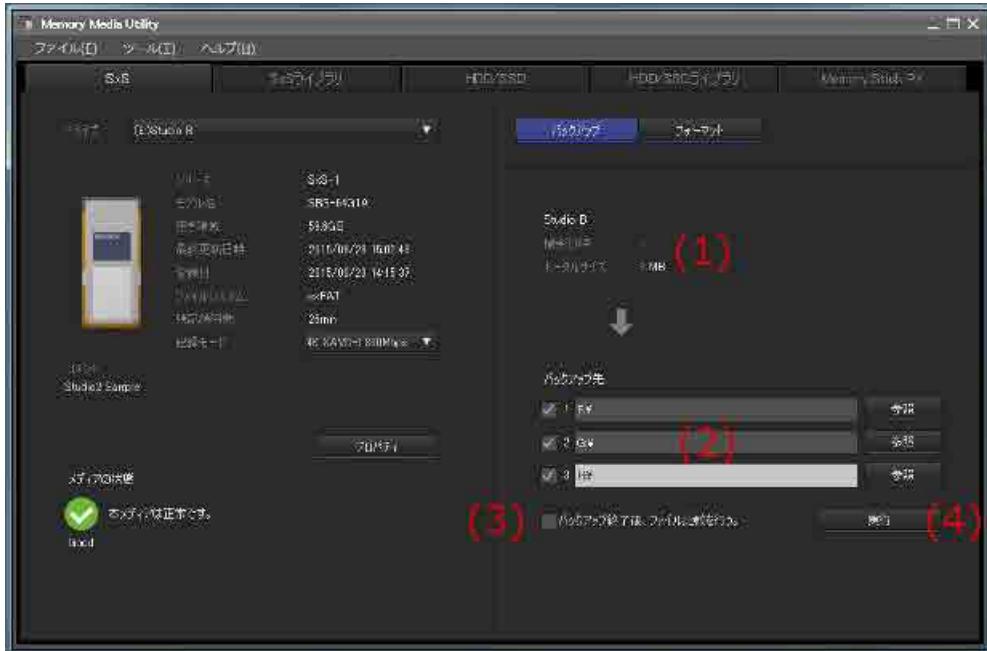


記録データをバックアップする

バックアップ機能を実行することで選択されている SxS メモリーカードに記録されている全てのファイルを最大 3 つの指定先へ同時にコピーおよびコピー後のファイル比較を行うことが可能です。

本機能を実行するには、SxS メモリーカードが挿入されているドライブを選択しバックアップボタンを押して、バックアップ実行画面を機能実行エリアに表示させます。

バックアップ実行画面



(1) SxS メモリーカード記録情報

XDCAM シリーズ機器または XDCAM EX シリーズ機器で記録された場合、最後に記録した動画の撮影開始日時と SxS メモリーカード内のバックアップ対象サイズを表示します。

バックアップ対象サイズは XDCAM シリーズ機器または XDCAM EX シリーズ機器で記録していない場合でも表示されます。

(2) バックアップ先選択エリア

バックアップ先を設定します。最大 3 つまで設定が可能です。

設定は、直接入力、参照ボタンの押下で表示されるフォルダ選択ダイアログでの選択の 2 通りが可能です。

(3) コピー後ファイル比較を行う チェックボックス

このチェックボックスをチェックしている場合バックアップ実施後、バックアップされたファイルの比較を行います。

(4) 実行ボタン

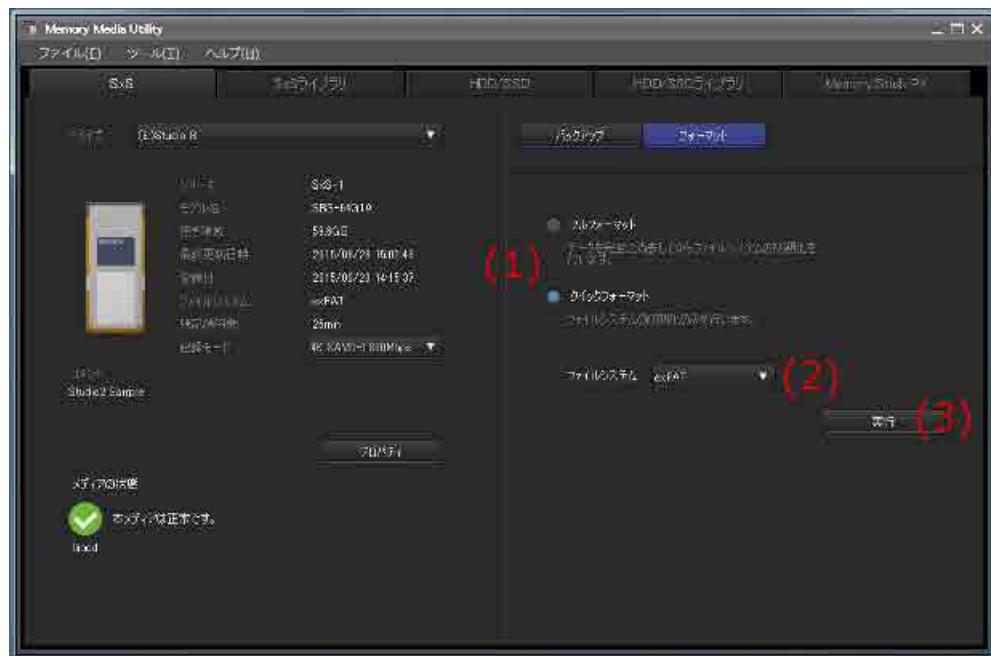
バックアップ処理を開始します。

SxS メモリーカードをフォーマットする

フォーマット機能を実行することで挿入＆選択されている SxS メモリーカードのフォーマットを行うことが出来ます。

本機能を実行するには、SxS メモリーカードが挿入されているドライブを選択しフォーマットボタンを押して、フォーマット実行画面を機能実行エリアに表示させます。

フォーマット実行画面





(1) フォーマット選択ラジオボタン

フォーマットをフルで行うかクイックで行うかを選択できます。

クイックフォーマットを選択すると、データの消去を行わずに、ファイルシステムの初期化のみを行うため、短時間で終わります（フルフォーマットではデータを完全に消去します）。

(2) ファイルシステム選択プルダウンメニュー

FAT32、UDF または exFAT のいずれかのファイルシステムを選択できます。

exFAT フォーマットは、同形式でプリフォーマットされ出荷された製品にのみ、使用することができます。

(3) 実行ボタン

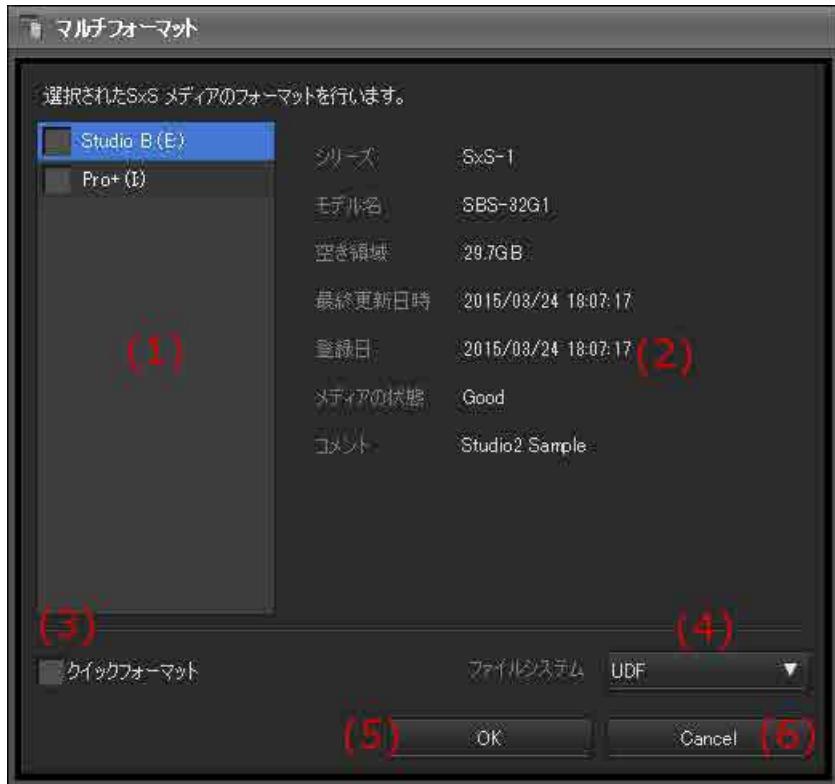
設定された内容でフォーマットを開始します。

SxS メモリーカードをまとめてフォーマットする

挿入されている SxS メモリーカードが複数ある場合、それらを一度にフォーマットすることができます。

本機能を実行するには、メニューの「ツール (T)」→「マルチフォーマット」を選択します。

マルチフォーマット実行画面



(1) SxS メモリーカード選択エリア

一度にフォーマットを行う SxS メモリーカードをチェックボックスで選択します。

(2) SxS メモリーカード情報

SxS メモリーカード選択エリアでフォーカスされている SxS メモリーカードの情報を確認のため表示します。

(3) クイックフォーマット選択チェックボックス

このチェックボックスをチェックしている場合はクイックフォーマットを行います。

(4) ファイルシステム選択プルダウンメニュー

FAT32、UDF または exFAT のいずれかのファイルシステムを選択できます。

(5) OK ボタン

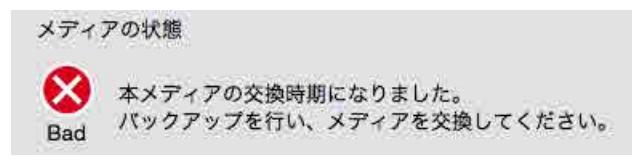
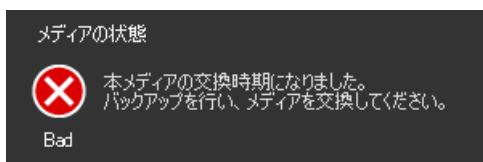
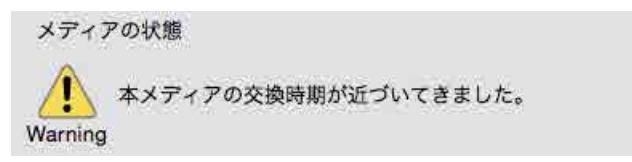
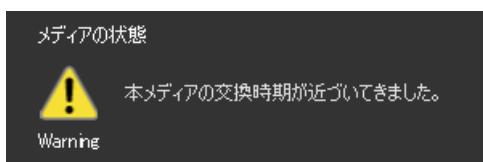
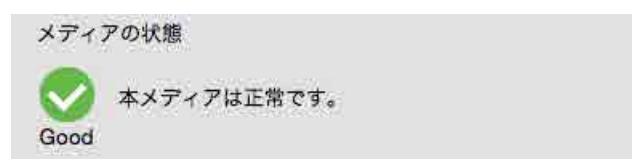
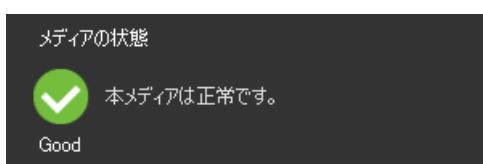
マルチフォーマットを開始します。

(6) Cancel (キャンセル) ボタン

何もせずにこのダイアログを閉じます。

メディアの状態

現在選択されている SxS メモリーカードの状態を表示します。



ご注意

SxS メモリーカードが正常動作することを保証するものではありません。

メディアの状態表示はソニー製リーダーライター使用時に表示されます。 SxS PRO シリーズは非対応です。

以前のバージョンで登録済みのメディアは、本バージョンでメディア再挿入時にメディアの状態表示が可能になります。

SBAC-US10 のファームウェアをアップデートする

SBAC-US10 のファームウェアをアップデートする機能です。

ファームウェアのバージョンが古い場合には「Memory Media Utility」の以下の機能が使用できません。

- メディアの状態表示
- シリーズ表示
- モデル名表示

「Memory Media Utility」を起動、もしくは常駐されている場合に接続された SBAC-US10 (SxS メモリーカードを挿入しておく) を自動的にチェックし、実行画面を開くことが出来ます。
また、メニューの「ツール (T)」→「メンテナンス」→「SBAC-US10 ファームウェアアップデート」を選択することで開くことも可能です。

SBAC-US10 ファームウェアアップデート実行画面



(1) ファームウェアアップデート対象 SBAC-US10 一覧

ファームウェアアップデートが必要な SBAC-US10 を全て表示します。

(2) 実行ボタン

SBAC-US10 ファームウェアアップデートを実行します。

(3) Cancel (キャンセル) ボタン

処理を中止し、この画面を閉じます。

SBAC-US20 のファームウェアをアップデートする

SBAC-US20 のファームウェアをアップデートする機能です。

ファームウェアのバージョンが古い場合には「Memory Media Utility」が使用できません。

「Memory Media Utility」を起動、もしくは常駐されている場合に接続された SBAC-US20 (SxS メモリーカー

ドを挿入しておく)を自動的にチェックし、実行画面を開くことが出来ます。

また、メニューの「ツール(T)」→「メンテナンス」→「SBAC-US20 ファームウェアアップデート」を選択することで開くことも可能です。

SBAC-US20 ファームウェアアップデート実行画面



(1) ファームウェアアップデート対象 SBAC-US20 一覧

ファームウェアアップデートが必要な SBAC-US20 を全て表示します。

(2) 実行ボタン

SBAC-US20 ファームウェアアップデートを実行します。

(3) Cancel (キャンセル) ボタン

処理を中止し、この画面を閉じます。

ファームウェアアップデート後は、全ての SBAC-US20 を取り外した後、5秒以上間隔を空けてから再接続してください。

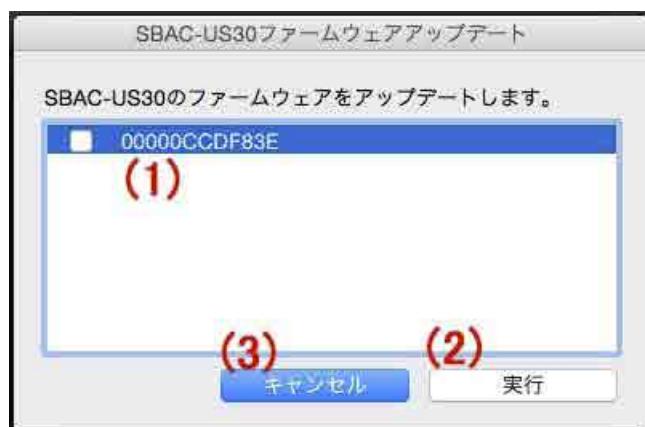
SBAC-US30 のファームウェアをアップデートする

SBAC-US30 のファームウェアをアップデートする機能です。

ファームウェアのバージョンが古い場合には「Memory Media Utility」が使用できません。

「Memory Media Utility」を起動、もしくは常駐されている場合に接続された SBAC-US30 (SxS メモリーカードを挿入しておく) を自動的にチェックし、実行画面を開くことが出来ます。
また、メニューの「ツール (T)」→「メンテナンス」→「SBAC-US30 ファームウェアアップデート」を選択することで開くことも可能です。

SBAC-US30 ファームウェアアップデート実行画面



(1) ファームウェアアップデート対象 SBAC-US30 一覧

ファームウェアアップデートが必要な SBAC-US30 を全て表示します。

(2) 実行ボタン

SBAC-US30 ファームウェアアップデートを実行します。

(3) Cancel (キャンセル) ボタン

処理を中止し、この画面を閉じます。

ファームウェアアップデート後は、全ての SBAC-US30 を取り外した後、5秒以上間隔を空けてから再接続してください。

SBAC-UT100 のファームウェアをアップデートする

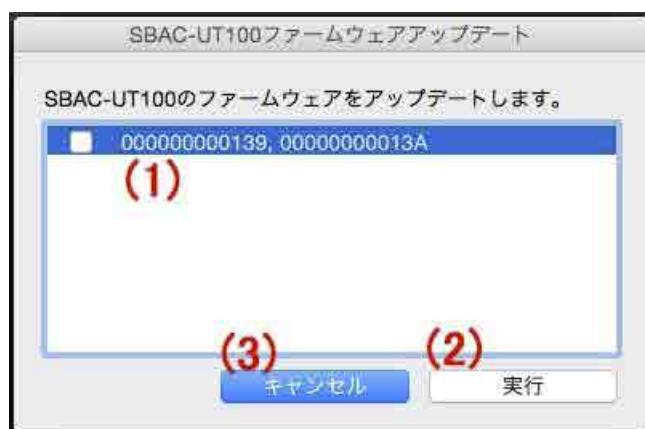
SBAC-UT100 のファームウェアをアップデートする機能です。

ファームウェアのバージョンが古い場合には「Memory Media Utility」が使用できません。

「Memory Media Utility」を起動、もしくは常駐されている場合に接続された SBAC-UT100 (SxS メモリーカードを挿入しておく) を自動的にチェックし、実行画面を開くことが出来ます。

また、メニューの「ツール(T)」→「メンテナンス」→「SBAC-UT100 フームウェアアップデート」を選択することで開くことも可能です。

SBAC-UT100 フームウェアアップデート実行画面



(1) フームウェアアップデート対象 SBAC-UT100 一覧

フームウェアアップデートが必要な SBAC-UT100 を全て表示します。

(2) 実行ボタン

SBAC-UT100 フームウェアアップデートを実行します。

(3) Cancel (キャンセル) ボタン

処理を中止し、この画面を閉じます。

フームウェアアップデート後は、全ての SBAC-UT100 を取り外した後、5秒以上間隔を空けてから再接続してください。

「Memory Media Utility」を常駐させる

「Memory Media Utility」が常駐しているときは、以下の処理が自動的に行われます。

- メディアの状態の取得と表示
- 未登録 SxS メモリーカードの検出
- フームウェア アップデートが必要な SBAC-US10/SBAC-US20/SBAC-US30/SBAC-UT100 の検出

Windows の場合

「Memory Media Utility」の起動画面の  を押すと常駐します。



常駐させずに「Memory Media Utility」を終了させる場合は、メニューの「ファイル(F)」の「終了」を選択します。この場合、次に「Memory Media Utility」を起動するまで、SxS メモリーカードのメディアなどのメディアの状態の情報取得が自動的に行われません。

macOS の場合

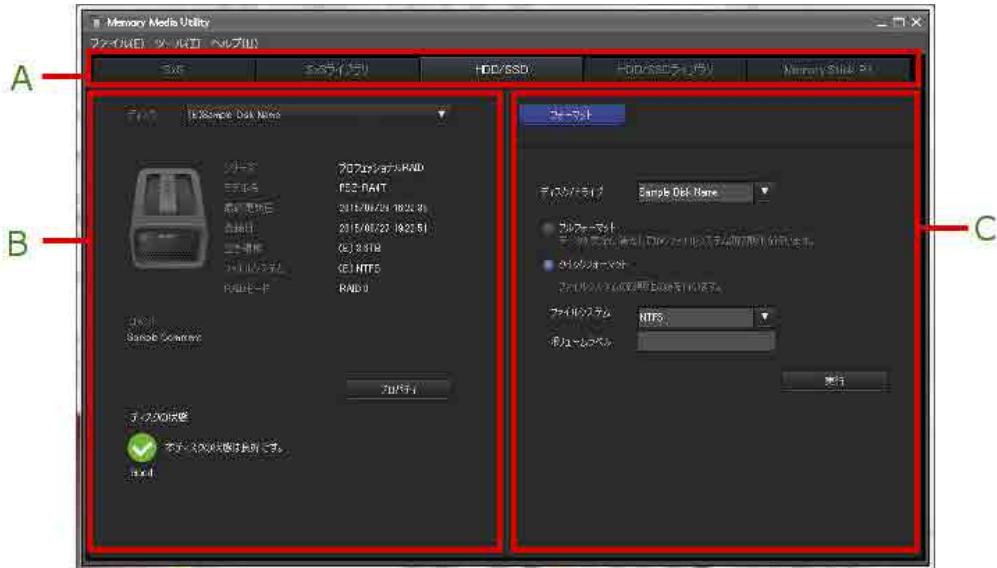
「Memory Media Utility」の起動時に、常に常駐します。



HDD/SSD 向け機能

画面各部の名称と機能

起動画面



A HDD/SSD, HDD/SSD ライブラリ切り替えタブ

HDD/SSD 操作画面と HDD/SSD ライブラリ画面を切り替えるタブです。

B HDD/SSD 情報

挿入＆選択されている HDD/SSD の情報を表示するエリアです。

ここでディスクの状態を確認することが出来ます。

C フォーマット

ディスク全体、または、ボリューム (ドライブ) を選択し、フォーマットすることができます。

各機能の詳細はそれぞれの項目でご確認ください。

HDD/SSD を登録する

「Memory Media Utility」はお持ちのポータブルストレージまたはプロフェッショナル RAID の情報を本ソフトウェアのデータベースに登録することで、情報の管理 / 閲覧することが可能となります。

「Memory Media Utility」を起動、もしくは常駐させている状態で未登録のポータブルストレージまたはプロフェッショナル RAID を挿入すると登録画面が表示されます。

ただし、本体が故障している場合は、登録はできません。

ご注意

Windows の場合、Thunderbolt で接続したときは表示されません。USB で接続してください。

登録画面





(1) ディスク名入力欄

任意の識別名を入力します。最大 32 文字まで入力可能です。

識別名は後から変更可能です。

(2) HDD/SSD 情報

HDD/SSD のシリーズ情報等が表示されます。

(3) コメント入力欄

任意のコメントを最大 256 文字まで入力できます。

コメントは後から変更可能です。

(4) OK ボタン

入力された情報で HDD/SSD の情報を登録します。

(5) Cancel (キャンセル) ボタン

HDD/SSD の登録を取りやめます。登録されない HDD/SSD は本ソフトウェアで使用できません。

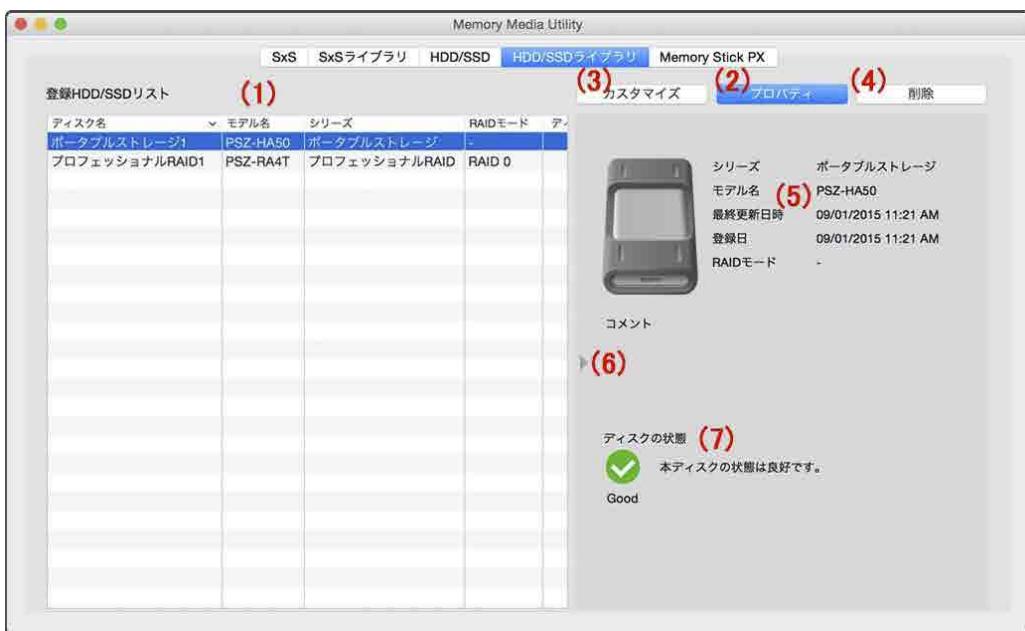
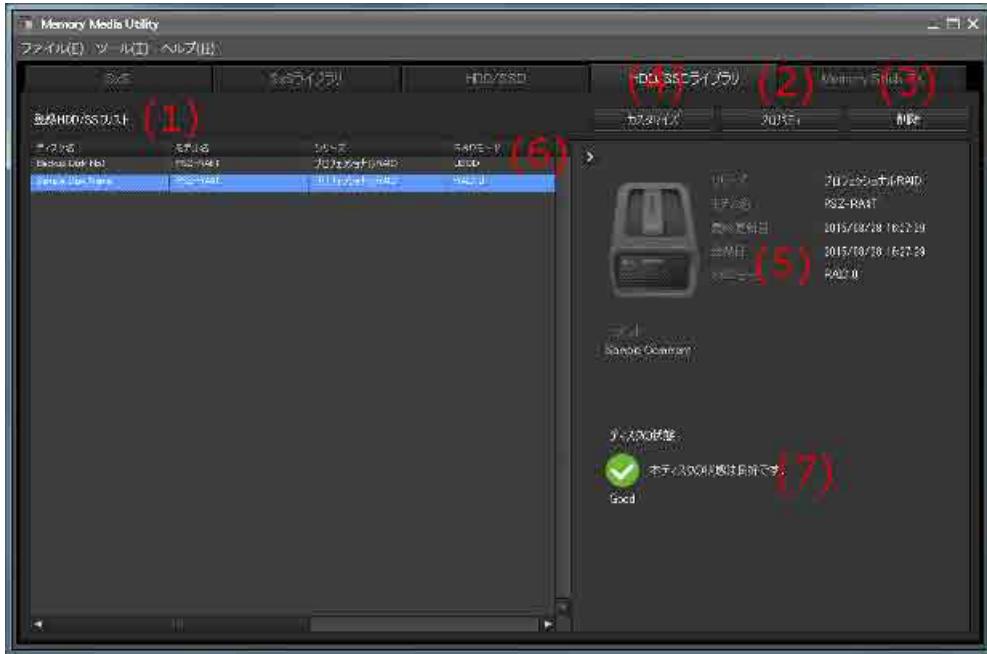
登録する場合は HDD/SSD を差し直して登録をやり直してください。

登録した HDD/SSD 情報を閲覧する

「Memory Media Utility」に登録されている HDD/SSD の情報を閲覧 / 編集することができます。

切り替えタブで HDD/SSD ライブラリを選択します。

HDD/SSD ライブラリ画面



(1) 登録 HDD/SSD リスト

このエリアでは「Memory Media Utility」に登録されている HDD/SSD の情報の一覧を表示します。表示される情報は以下のものとなります。

- ディスク名 : 任意の入力名称
- モデル名 : HDD/SSD 型番
- シリーズ : HDD/SSD シリーズ名
- RAID モード : プロフェッショナル RAID の RAID モード。ポータブルストレージでは "—" が表示されます。
- ディスクの状態 : HDD/SSD の診断結果
- 最終更新日時 : HDD/SSD の最終情報取得日
- 追加列 1, 2, 3 : 任意に設定された追加列
- コメント : 任意の入力コメント

(2) プロパティ

登録 HDD/SSD リスト内で選択されている HDD/SSD の登録情報を変更するダイアログを表示するボタンです。以下の項目の変更が可能です。

- ディスク名
- コメント
- 追加列 1, 2, 3

(3) 削除

登録 HDD/SSD リスト内で選択されている HDD/SSD の登録情報を削除するボタンです。

一度削除した HDD/SSD を再度「Memory Media Utility」で使用する場合は登録からやり直す必要があります。

(4) カスタマイズ

登録 HDD/SSD リスト内の各列の設定を変更するダイアログを表示します。

(5) HDD/SSD 情報表示エリア

登録 HDD/SSD リスト内で選択されている HDD/SSD の情報を表示するエリアです。最後に取得した情報を元に表示します。

(6) 登録 HDD/SSD リスト表示エリア拡大ボタン

このボタンを押すことで、HDD/SSD 情報表示エリアを消して、登録 HDD/SSD リストの表示エリアを広げることが出来ます。

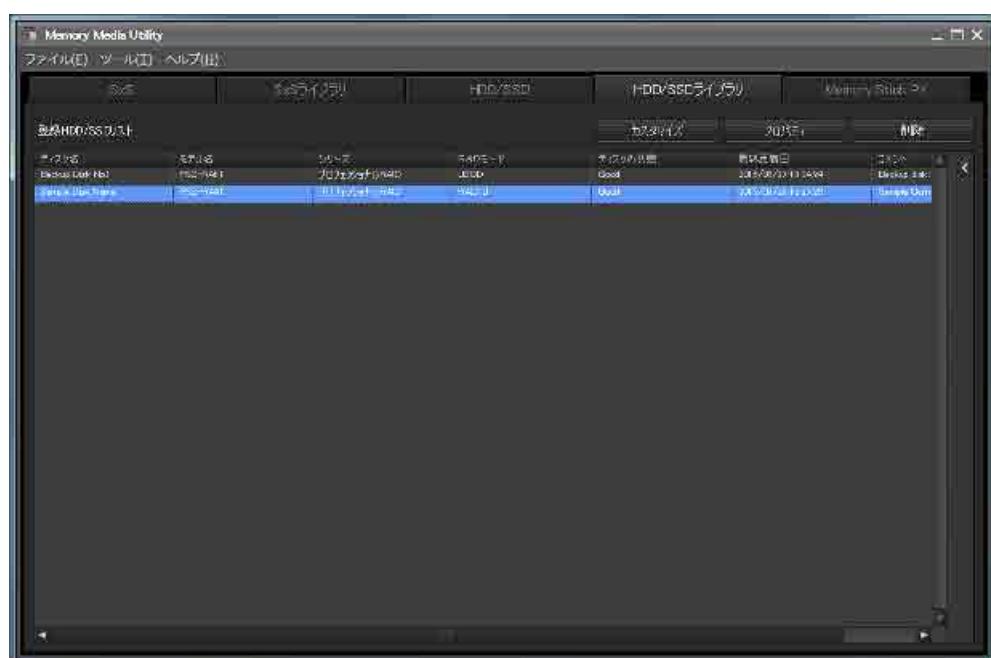
(7) ディスクの状態

登録 HDD/SSD リスト内で選択されている HDD/SSD のディスクの状態を表示します。

下記の状態は (6) のボタンを使って閲覧エリアを変更した状態です。

を押すことで元に戻すことが出来ます。

元に戻す場合は閲覧エリア変更後に表示されている を押してください。



Memory Media Utility

SxS SxSライブラリ HDD/SSD **HDD/SSDライブラリ** Memory Stick PX

登録HDD/SSDリスト

カスタマイズ プロパティ 削除

ディスク名	モデル名	シリーズ	RAIDモード	ディスクの状態	最終更新日時	コメント
ポータブルストレージ1	PSZ-HA50	ポータブルストレージ	-	Good	09/01/2015 11:21 AM	
プロフェッショナルRAID1	PSZ-RA4T	プロフェッショナルRAID	RAID 0	Good	09/01/2015 12:55 PM	

カスタマイズダイアログ画面



カスタマイズダイアログでは次の設定が実施可能です。

- 追加列の名称設定
- 各列の表示、非表示の切り替え

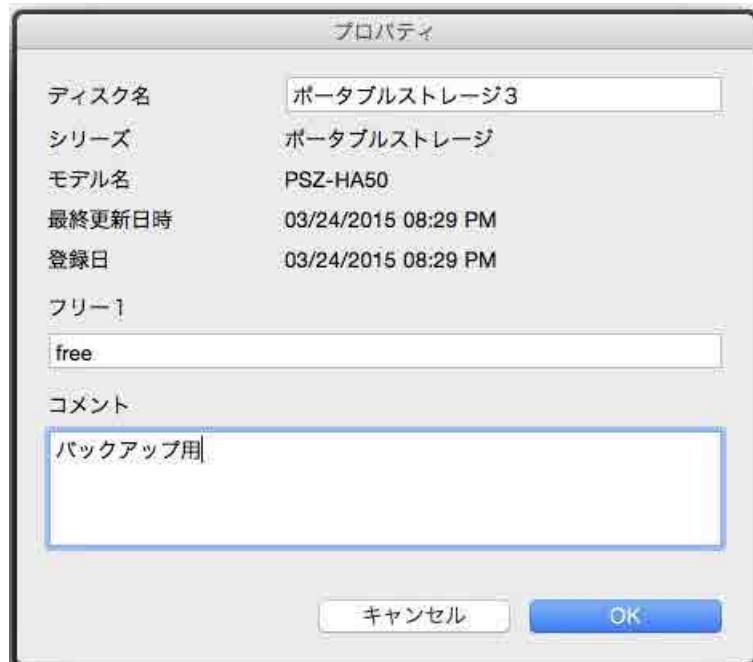
追加列は名称を設定することで有効になります。有効になった後は、登録済み HDD/SSD はプロパティによっ

て追加列情報の入力、変更が可能です。

ご注意

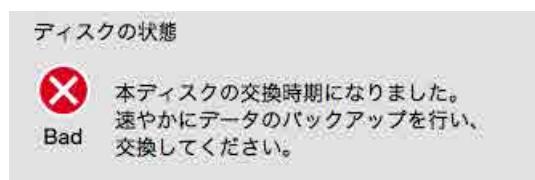
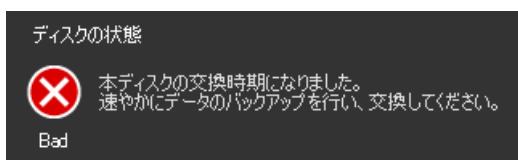
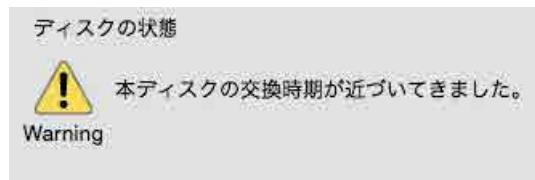
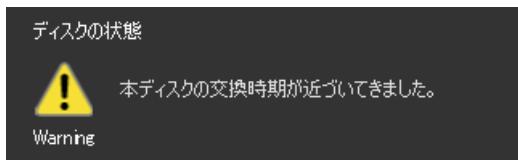
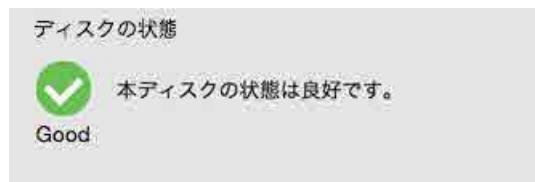
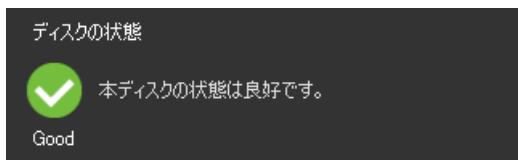
追加列は名称を空欄にすることで無効になります。

追加列の名称を " フリー 1 " として有効にした後のプロパティ画面



ディスクの状態

HDD/SSD タブおよび HDD/SSD ライブラリタブで、選択されている HDD/SSD の状態を表示します。



ご注意

HDD/SSD が正常動作することを保証するものではありません。

Windows で Thunderbolt 接続した場合は表示されません。USB 接続した場合は表示されます。

HDD の場合だけにあらわれるメッセージ

前回ご使用時（前回本ソフトウェアでご使用後から今回ご使用の間）に、HDD に衝撃が加わったり、安全な取り外しを行わなかった場合は下記メッセージが表示されることがあります。

前回ご使用時に衝撃を受けた可能性があります。
ご使用中は本機を動かさないでください。

前回ご使用時に不適切な取り外しがされた可能性があります。
必ず安全な取り外しの操作を行ってから、接続ケーブルを抜いてください。

前回ご使用時に衝撃を受けた可能性があります。
ご使用中は本機を動かさないでください。

前回ご使用時に不適切な取り外しがされた可能性があります。
必ず安全な取り外しの操作を行ってから、接続ケーブルを抜いてください。

HDD/SSD をフォーマットする

フォーマット機能を実行することで選択されている HDD/SSD のフォーマットを行うことができます。

ディスク全体を 1 つのボリューム（ドライブ）に初期化するか、既に複数のボリューム（ドライブ）に分かれている場合は、個々のボリューム（ドライブ）を初期化することができます。

ただし、PC が認識できないボリューム（ドライブ）が含まれる場合は、初期化できません。例えば、Windows では Mac 用に初期化されたボリュームを認識できないため、初期化できません。また、PC が認識できないボリューム（ドライブ）が含まれる場合は、ディスク全体を初期化できません。

フォーマット実行画面



(1) フォーマットするボリューム(ドライブ)を選択する

ディスク全体を1ボリューム(ドライブ)としてフォーマットする時は、ディスク名を選択してください。
ボリューム(ドライブ)をフォーマットする時は、それぞれのボリューム(ドライブ)を選択してください。

ご注意

ボリューム(ドライブ)をexFATでフォーマットしたい場合、ボリューム(ドライブ)を選択することはできません。必ず、ディスク全体を選択してください。

(2) クイックフォーマットかフルフォーマットを選択する

クイックフォーマットを選択すると、データの消去を行わずに、ファイルシステムの初期化のみを行うため、短時間で終わります。

ご注意

- フルフォーマットは、データを完全に消去するので、数時間から十数時間がかかることがあります。また、途中でキャンセルする場合も、数分から数十分かかる可能性があります。
- フルフォーマットしても、データ復元を完全に防げるわけではありません。データ復元を防ぎたい場合は、別途専用のソフトウェアをご使用ください。

(3) ファイルシステムを選択する

ファイルシステム名	Mac で選択可能	Windows で選択可能	説明
FAT32	はい	はい	Mac と Windows 両方で使う場合に適しています。しかし、4GB 以上のファイルを記録することはできません。ポータブルストレージの場合のみ、FAT32 を選択することができます。
HFS+	はい	いいえ	Mac のみで使う場合に適しています。4GB 以上のファイルを記録することができます。
NTFS	いいえ	はい	Windows のみで使う場合に適しています。4GB 以上のファイルを記録することができます。
exFAT	はい	はい	Mac と Windows 両方で使う場合に適しています。4GB 以上のファイルを記録することができます。ポータブルストレージを exFAT でフォーマットしたい場合には、ボリューム（ドライブ）をフォーマットすることはできません。必ずディスク全体を選択してください。

ご注意

- exFAT フォーマットは、同形式でプリフォーマットされ出荷された製品にのみ、使用することができます。
- 2TB 以上の HDD/SSD は、一部のソニー製 XDCAM 機器に対応しておりません。

(4) ボリュームラベルを入力する

ボリュームラベルは、HDD/SSD を PC に接続したときに表示される文字列です。

ここに入力した文字列が、初期化したボリューム（ドライブ）のボリュームラベルとして設定されます。

[ディスク / ボリューム] でボリューム（ドライブ）を選択した場合、そのボリューム（ドライブ）のボリューム名が表示されます。また、1ボリューム（ドライブ）しかないディスクを選択した場合も、そのボリューム（ドライブ）のボリュームラベルが表示されます。しかし、複数ボリューム（ドライブ）があるディスクを選択した場合は、ボリュームラベルは空欄になります。

ご注意

- ボリュームラベルの入力には以下の制限があります。

ファイルシステム名	入力可能サイズ	使用できる文字	1文字目のみ使用できない文字
FAT32	11 バイト	半角英数字 半角スペースおよび以下の記号 ! # \$ % & ' () ~ { } @ ` _ - ^	半角スペース
HFS+	255 バイト	以下の記号以外の文字 /:	. (ピリオド) 半角スペース
NTFS	32 バイト	全ての文字	半角スペース
exFAT	11 バイト	半角英数字 半角スペースおよび以下の記号 ! # \$ % & ' () ~ { } @ ` _ - ^	半角スペース

- FAT32 フォーマットではボリュームラベルに入力した英小文字は英大文字に変換されます。

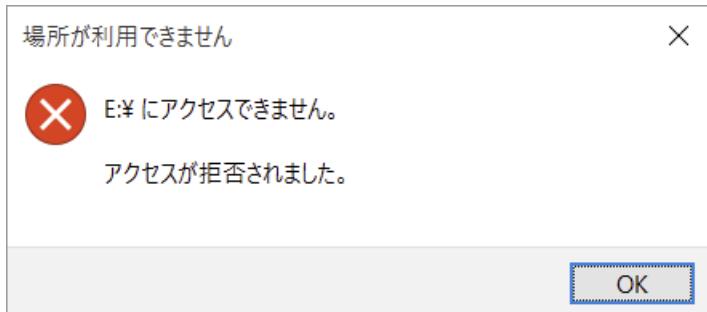
(5) 実行ボタンを押す

設定された内容でフォーマットを開始します。

ご注意

Windows の場合、フォーマット中にメッセージが表示されることがあります。

- フォーマットしているときに、下記のようなメッセージが表示される場合があります。その時は OK ボタンを押してください。フォーマットは継続します。



- 「このドライブで問題が見つかりました。今すぐドライブのスキャンを実行してください。」というメッセージが表示されることがあります、フォーマットは継続します。

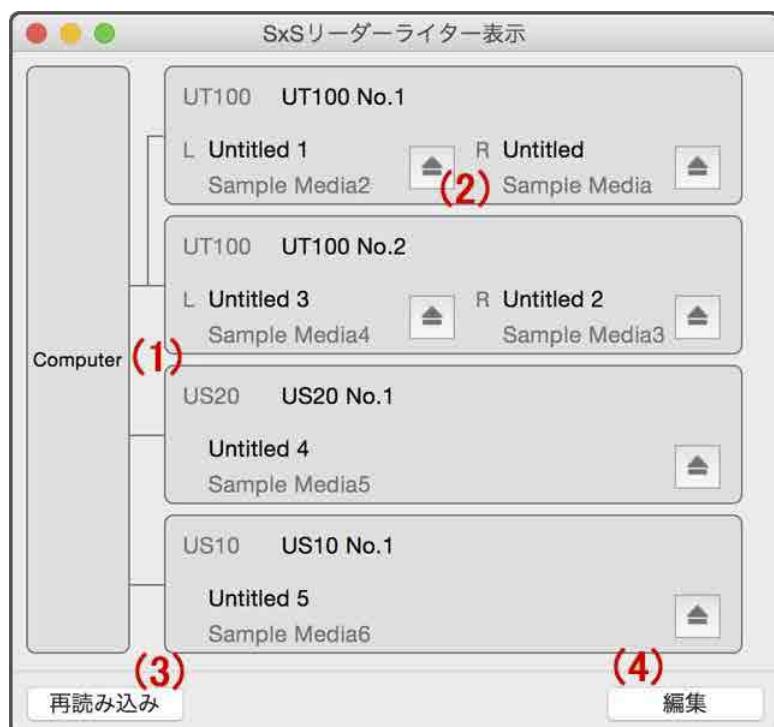
SxS リーダーライター表示

「SxS リーダーライター表示」は、PC/Mac に接続されているソニー製 SxS リーダーライターを表示する機能です。

ご注意

Windows の場合、Thunderbolt で接続する SBAC-T40 では、画面上のイジェクトボタンでメディアをアンマウントすることはできません。Windows のタスクバーから「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」を行ってください。

各部の機能と名称



(1) SxS リーダーライター表示領域

PC/Mac に接続されている SxS リーダーライターを表示します。

SxS リーダーライターのモデル名、SxS リーダーライターの名前が表示されます。

SxS メモリーカードが挿入されているときは、ドライブ名 / ボリューム名が表示されます。

さらに、本ソフトウェアに登録してある SxS メモリーカードの場合は、メディア名も表示されます。

SBAC-UT100 の場合は、左側のスロットを "L"、右側のスロットを "R" として表示します。

(2) イジェクトボタン

イジェクトボタンが押されたら、メディアをアンマウントします。 SBAC-US20/SBAC-US30/SBAC-UT100 の場合は、本体の LED を消灯させます。

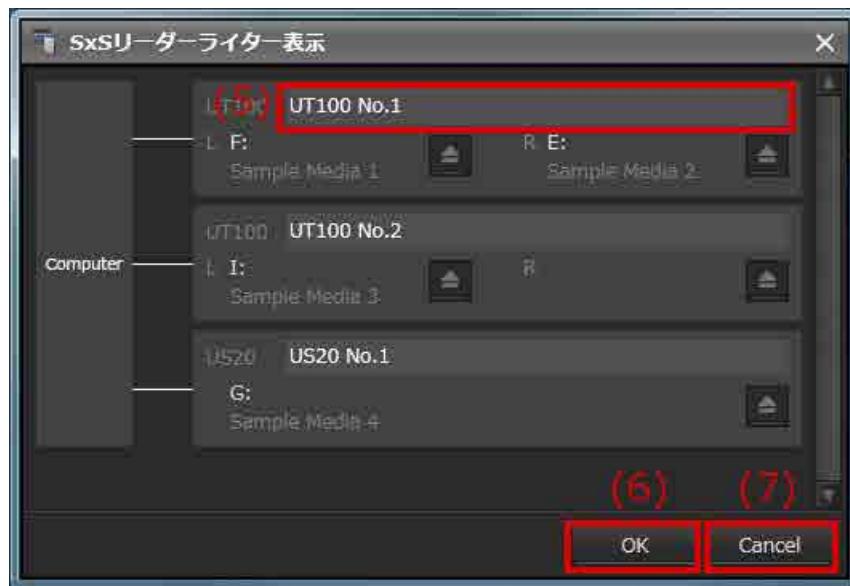
(3) 再読み込みボタン

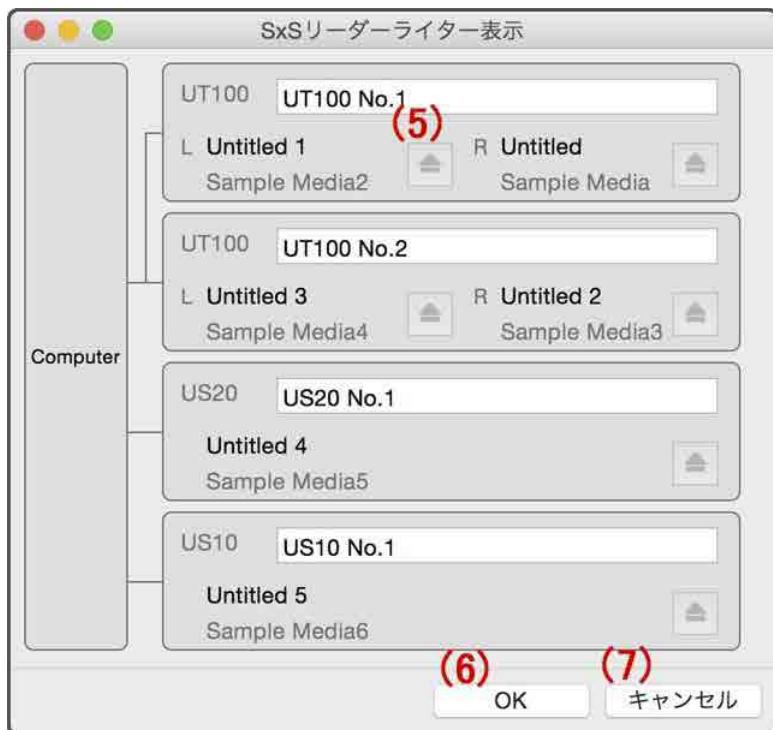
もし PC/Mac に接続されている SxS リーダーライターや SxS メモリーカードが表示されない場合は、このボタンを押してください。 PC/Mac に接続されている SxS リーダーライターと SxS メモリーカードを探して表示します。

(4) 編集ボタン

SxS リーダーライターの名前を編集することができます。

ボタンを押すと、下の画面に切り替わります。





(5) SxS リーダーライターの名前編集欄

SxS リーダーライターの名前を入力してください。

10 文字まで入力できます。

別のリーダーライターにつけた名前は、付けることはできません。

(6) OK ボタン

SxS リーダーライターの名前を登録します。

(7) Cancel (キャンセル) ボタン

SxS リーダーライターの名前の登録を取りやめます。

困ったときは

ここでは、「Memory Media Utility」が表示するエラーメッセージに対する解決方法の一部を説明します。

エラーコード	対応内容
0001	既に登録されている名前と同じです。別の名前を指定してください。
0002	メディア名が長すぎます。32 文字以内の名前を指定してください。
0003	コメントが長すぎます。256 文字以内のコメントを指定してください。
0004	コメントの登録に失敗しました。アプリケーションを一度終了させて、アプリケーションを再度起動させて、登録をやり直してください。
0005	変更に失敗しました。アプリケーションを一度終了させて、アプリケーションを再度起動させて、変更をやり直してください。
0100	ボリュームラベルの変更に失敗しました。変更をやり直してください。
1001	フォルダのパスが長すぎます。別のフォルダを指定してください。
1002	コピー先の空き容量不足です。十分な空きを確保するか、別のコピー先を設定してください。
1003	キャンセルボタンが押されたため、処理を中止しました。必要に応じて処理を最初からやり直してください。
1004	処理に失敗しました。コピー元、コピー先のドライブの状態を確認してください。
1005	2つ以上同じコピー先が指定されています。コピー先を確認してください。
1006	コピー元ドライブがコピー先に含まれています。コピー先を確認してください。
1007	コピー先が存在しない可能性があります。コピー先を確認してください。
2001	フォーマットが実行できません。Write Protect Switch が ON になっていないか確認してください。
2002	処理に失敗しました。フォーマットを実行したドライブの状態を確認してください。 他のソフトウェアがメディアを使用中の可能性があります。時間をおいて再度実行してください。
2003	キャンセルボタンが押されたため、フォーマットを中止しました。必要に応じてフォーマットを最初からやり直してください。
2004	フォーマットするドライブを一つ以上選択してください。
2005	キャンセルボタンが押されたため、全てのドライブのフォーマットを中止しました。必要に応じてフォーマットを最初からやり直してください。
3001	エクスポートに失敗しました。エクスポート先のドライブの状態を確認してください。
3100	SxS ライブラリの更新過程でエラーが発生しました。再起動を行って最初から作業をやり直してください。
4001	キャンセルボタンが押されたため、全てのドライブのアップデートを中止しました。必要に応じてアップデートを最初からやり直してください。
4002	表示されている SBAC-US10 のアップデートに失敗しました。ドライブを一度取り外し接続しなおしてから、再度処理を実行してください。SxS メモリーカードを挿入している場合には、SBAC-US10 から抜き取ってください。
4003	キャンセルボタンが押されたため、全ての SBAC-US20 のアップデートを中止しました。全ての SBAC-US20 を取り外した後、5 秒以上間隔を空けてから再接続し、必要に応じてアップデートを最初からやり直してください。

エラーコード	対応内容
4004	表示されている SBAC-US20 のアップデートに失敗しました。全ての SBAC-US20 を取り外した後、5秒以上間隔を空けてから再接続し、必要に応じてアップデートを最初からやり直してください。
4005	キャンセルボタンが押されたため、全ての SBAC-US30 のアップデートを中止しました。必要に応じてアップデートを最初からやり直してください。
4006	表示されている SBAC-US30 のアップデートに失敗しました。全ての SBAC-US30 を取り外した後、5秒以上間隔を空けてから再接続し、必要に応じてアップデートを最初からやり直してください。
4007	キャンセルボタンが押されたため、全ての SBAC-UT100 のアップデートを中止しました。全ての SBAC-UT100 を取り外した後、5秒以上間隔を空けてから再接続し、必要に応じてアップデートを最初からやり直してください。
4008	表示されている SBAC-UT100 のアップデートに失敗しました。全ての SBAC-UT100 を取り外した後、5秒以上間隔を空けてから再接続し、必要に応じてアップデートを最初からやり直してください。
6001	このドライブは FAT32 フォーマットをすることができません。FAT32 の初期化が可能なディスクの最大容量は 2TB です。NTFS を選択して実行してください。
6002	このボリュームは FAT32 フォーマットをすることができません。FAT32 の初期化が可能なディスクの最大容量は 2TB です。HFS+ を選択して実行してください。
6004	このディスクは FAT32 フォーマットをすることができません。FAT32 の初期化が可能なディスクの最大容量は 2TB です。FAT32 以外のファイルシステムを選択してフォーマットするか、他のフォーマットアプリケーションを使用してください。
6005	ディスク全体をフォーマットすることができません。選択されたディスクには Windows がマウント出来ないエリアが含まれています。そのエリアを作成した機器で、Windows でマウントできるように再構成してください。
6006	ディスク全体をフォーマットすることができません。選択されたディスクには Mac がマウント出来ないエリアが含まれています。そのエリアを作成した機器で、Mac でマウントできるように再構成してください。
6007	ディスク全体をフォーマットすることができません。本アプリケーションでフォーマットすることができないディスクです。そのエリアを作成した機器で、Windows でマウントできるように再構成してください。
6008	ディスク全体をフォーマットすることができません。本アプリケーションでフォーマットすることができないディスクです。そのエリアを作成した機器で、Mac でマウントできるように再構成してください。
6009	このディスクは NTFS フォーマットをすることができません。本アプリケーションは 2TB より大きなディスク全体を NTFS フォーマットできません。他のフォーマットアプリケーションを使用してください。
6010	フォーマットできませんでした。選択したディスクに接続できませんでした。ディスクを接続しなおしてから、再度実行してください。
6020	フォーマットできませんでした。選択したディスクの情報を取得できませんでした。ディスクを接続しなおしてから、再度実行してください。
6030	フォーマットできませんでした。選択したディスクの読み書きができませんでした。ディスクを接続しなおしてから、再度実行してください。

エラーコード	対応内容
6040	フォーマットできませんでした。選択したボリュームの書き込み準備ができませんでした。他のソフトウェアで行っている操作を終了させてから、再度実行してください。
6050	フォーマットできませんでした。選択したボリュームに接続できませんでした。ディスクを接続しなおしてから、再度実行してください。
6060	フォーマットできませんでした。選択したボリュームの読み書きができませんでした。ディスクを接続しなおしてから、再度実行してください。
6080	ドライブを選択した場合 exFAT フォーマットをすることができません。ディスク全体を選んでください。
9001	再度起動を行ってください。それでもこのエラーコードが表示される場合はコンピューターの再起動を行ってください。
9002	コンピューターの再起動を行ってください。それでもこのエラーコードが表示される場合にはアプリケーションを再インストールしてください。
9999	このエラーが何度も出る場合はアプリケーションを再インストールしてください。

免責事項

- 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよびヘルプの内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されています。
- ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求等についても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

商標について

- "SxS (エスバイエス) "、"SxS PRO (エスバイエス プロ) "、"SxS-1 (エスバイエス ワン) "、"Memory Stick" はソニー株式会社の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac、macOS および Macintosh は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Thunderbolt は、米国 Intel Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- 本書に記載されているシステム名、製品名、会社名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では、®、™ マークは明記していません。